

「今月の1枚」

ハグロトンボ（カワトンボ科）

Calopteryx atrata

名前の通り、黒い羽（翅）のトンボで、体長は6cm程度です。雄の体は光沢のある金緑色をしています。本州、四国、九州まで分布して、平野部や丘陵地で普通に見られ、緩やかに流れる水の中に幼虫が生息します。5月下旬頃から成虫が羽化しますが、羽化後の未成熟な時期には水辺から離れて薄暗い林床や木陰などで生活します。成熟すると、水辺に戻り、産卵します。成虫は高知県では11月中旬頃まで見かけます。「神さまトンボ」と呼ぶ地域もあります。



（写真：松本剛史、文：佐藤重穂 2008年7月11日 高知県香美市土佐山田にて撮影）

（No.178
2008.10.22 掲載）

